

|   |   |                                       |                 |
|---|---|---------------------------------------|-----------------|
| <b>科目名：精神病態学</b><br>( Psychiatry )<br>履修年次/時期：2 年次 前期 授業形態：講義<br>担当教員：博多祐子（実務経験有） |   | 必                                     | 1 単位<br>(45 時間) |
| 学修目的  | 精神疾患と精神障害者に対しての歴史的な背景、今日発展している理論・研究成果を知り、症状と診断について理解する。精神疾患による症状が患者自身や生活に及ぼす影響、障害者の成長を維持するための医療・治療と看護の連携、地域精神医療について知識を得、「当事者が精神の病をもちながらも自分らしい生活を送れるよう」な支援を熟慮する。<br>CP.2.3 に関連する 科目 No.KNI-224   |                                       |                 |
| この科目が目的としている DP   | 1. 医療専門職としての倫理観を有する。  | (1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。         | ○               |
|   |   | (2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。             | ○               |
|   | 2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。   | (1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。 | ○               |
|   |   | (2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。  | ◎               |
|   |   | (3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。           | ○               |
|   | 3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。  | (1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。  | ○               |
|   |   | (2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。   | ○               |
| (3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。   |   | ○                                     |                 |
| ◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP  |   |                                       |                 |
| ○： この講義・演習・実習と関連がある DP  |   |                                       |                 |
| 到達目標  | ① 精神医学の歴史と看護との関係を説明できる。<br>②精神疾患に関連した法制度について説明できる。<br>③精神症状の分類ができる。<br>④主な精神疾患/障害の診断基準・分類について説明できる。<br>⑤診断のための検査の対象・方法・内容・留意点を説明できる。<br>⑥各疾患/障害の主な治療法・技法・治療機序・看護について述べることができる。<br>⑦検査・治療と協同する看護について述べるができる。<br>⑧地域精神医療の現状について知り、課題解決について考察する。 |                                       |                 |
| 授業概要  | 精神の健康障害の特殊性について精神病理を中心に学習し、看護の対象の理解を深め、精神臨床看護の学修と看護実践に役立てることをねらいとする。  |                                       |                 |
| 評価方法  | 学期末試験：80%<br>レポート、提出物、授業参加態度：20%<br>レポート課題1：提出期限 授業内で示す 提出場所：3 号館博多研究室ボックス<br>レポート課題2：提出期限 授業内で示す 提出場所：3 号館博多研究室ボックス<br>レポート提出形式 表紙の代わりに、レポート自己評価票を添付する。文字数・行数はシラバス復習欄を参照<br>試験に対するフィードバックは掲示で行う。<br>レポートの評価基準は事前に配布する。                       |                                       |                 |
| 予習・復習時間   | 【予習】 1.9h<br>【復習】 1.9h  |                                       |                 |

|              |  |
|--------------|--|
| 教科書          | 新体系看護学全書 専門分野Ⅱ 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護（メヂカルフレンド社）   |
| 参考書          | 授業の中で提示  |
| オフィス-<br>連絡先 | 授業終了後 10 分 第3号館3階研究室<br>不在時はメールでお願いします。 <a href="mailto:hakata@kdu.ac.jp">hakata@kdu.ac.jp</a> |

| 実施回     | 授業計画  | 予習・復習・キーワード  | 担当                  |
|---------|---|--|---------------------|
| 1 ( / ) | <p>【主な疾患の診断・検査と看護】</p> <p>1 精神症状の分類ができる。</p> <p>知覚の障害、思考の障害、感情の障害、意欲・行動の障害、自我障害、記憶の障害、意識障害、睡眠障害、高次機能障害</p> <p>2 精神疾患の分類、診断基準の分類について説明できる。</p> <p>3 精神科の診察・検査、心理検査について説明できる。</p> <p>血液検査、画像検査、脳波検査、知能検査、発達検査、人格検査、認知機能検査、視診、問診、フィジカルアセスメント</p> | <p>【予習】教科書①p148～163,p74～79を読む</p> <p>【復習】精神症状の項目ごとに、具体的な発言・観察でわかることを指示された表に記入する</p> <p>【キーワード】</p> <p>診断基準、DSM-5、ICD-11、</p>   | <p>講義</p> <p>博多</p> |
| 2 ( / ) | <p>【主な疾患の治療と看護】</p> <p>1 主な薬物療法とその時の看護について説明できる。</p> <p>2 精神療法、個人精神療法、集団精神療法</p> <p>3 認知行動療法、生活技能訓練（SST）</p> <p>4 精神科リハビリテーション、作業療法、生活療法</p> <p>5 心理教室</p>  | <p>【予習】教科書①p162～295を読む</p> <p>脳の神経細胞二つを描く。結合部シナプスを拡大し興奮の伝達を図にする</p> <p>【復習】精神症状と神経伝達物質・薬物療法の関連について復習する</p> <p>【キーワード】</p> <p>神経伝達物質と精神機能、向精神薬と抗精神病薬、認知行動療法、精神療法、心理療法、精神科リハビリテーション</p>  | <p>講義</p> <p>博多</p> |
| 3 ( / ) | <p>【安全な治療環境の提供】</p> <p>1 我が国の精神科病院・病棟環境の整備と行動制限について述べる</p> <p>2 自殺・自殺企図・自傷行為に対する安全管理&lt;セーフティーマネジメント&gt;について説明できる。</p> <p>3 暴力防止予防プログラム（CVPPP）について説明できる</p> <p>4 他の先進国と日本の精神医療の相違について説明できる</p>  | <p>【予習】教科書②p312～345を読む</p> <p>精神保健福祉法の処遇について予習</p> <p>【復習】</p> <p>レポート1：他の先進国と日本の精神医療福祉の相違について論じなさい。</p> <p>①我が国と〇〇国には〇〇の違いがある。②〇〇について詳細に説明する。③〇〇が日本でまだ実現していないのは（医療体制、保健、福祉、家族構成や家族の支援、住居、気候、地域性、障害者との接し方、人間、差別、哲学）など何が異なるからなのか。④貴方は今後我が国の精神保健医療がどのような仕組みになるとよいと考えているか論じなさい。</p> <p>1600字、ワード可、一行目にタイトル(自作)、二行目に学籍番号、氏名</p> <p>【キーワード】</p> <p>自殺防止、隔離・拘束時の看護</p> | <p>講義</p> <p>博多</p> |
| 4 ( / ) | <p>【主な疾患/障害の治療と看護 1】</p> <p>1 統合失調症の症状・治療と援助について説明できる。</p>  | <p>【予習】教科書①165～181を読む</p> <p>指示した体験談を読む</p>  | <p>講義</p> <p>博多</p> |

|         |  |  |                     |
|---------|--|--|---------------------|
|         |  | <p>【復習】指示した課題を解く</p> <p>【キーワード】</p> <p>症状、型、病期、診断、治療、統合失調症の一般的看護、病期と治療・看護</p>  |                     |
| 5 ( / ) | <p>【主な疾患/障害の治療と看護 2】</p> <p>1 双極性障害の症状・治療と援助について説明できる。</p> <p>2 大うつ病の症状と・治療と援助について説明できる。</p>   | <p>【予習】教科書①182～191 を読む</p> <p>指示した体験談を読む</p> <p>【復習】指示した課題を解く</p> <p>【キーワード】</p> <p>症状、型、病期、診断、治療、SSRIと認知行動療法、一般的看護、病期と治療・看護</p>   | <p>講義</p> <p>博多</p> |
| 6 ( / ) | <p>【主な疾患/障害の治療と看護 3】</p> <p>1 不安障害群・強迫性障害の症状・治療と援助について説明できる。</p> <p>2 ストレス関連障害の症状・治療と援助について説明できる。</p>  | <p>【予習】教科書①191～201,211～214</p> <p>被災者の体験談を読む</p> <p>【復習】指示した問題を解く</p> <p>【キーワード】</p> <p>症状、診断、治療、一般的援助、不安障害に対する支援</p>  | <p>講義</p> <p>博多</p> |
| 7 ( / ) | <p>【主な疾患/障害の治療と看護 4】</p> <p>1 神経性無食欲症、神経性過食症の症状・治療と援助について説明できる。</p> <p>2 パーソナリティ障害の症状・治療と援助について説明できる。</p> <p>3 物質関連障害、嗜癖性障害、アルコール依存の症状・治療と援助について説明できる。</p> | <p>【予習】教科書①201～217 を読む</p> <p>発達課題について予習する</p> <p>電解質とそれが低下したときの症状について予習する</p> <p>【復習】</p> <p>レポート2 の準備</p> <p>【キーワード】</p> <p>症状、診断、治療、精神作用物質使用による精神行動障害の一般的支援</p>                   | <p>講義</p> <p>博多</p> |
| 8 ( / ) | <p>【主な疾患/障害の治療と看護 5】</p> <p>1 発達障害、自閉スペクトラム症/障害、注意欠如・多動症/障害、局所性学習障害、チック症候群の症状・治療と支援について説明できる。</p> <p>2 まとめ</p>   | <p>【予習】教科書①211～214</p> <p>【復習】</p> <p>レポート2：精神疾患の病態・検査・治療の知識の有無による看護師の援助の違いを、具体例を挙げ論じなさい。1800字、ワード可、一行目にタイトル(自作)、二行目に学籍番号、氏名</p> <p>【キーワード】</p> <p>症状、診断、治療、一般的援助、心理的発達の障害に対する支援</p> | <p>講義</p> <p>博多</p> |